

意見の申立て及びその対応

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：7・理工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 4. 学業の成果</p> <p>【原文】 「学業の成果に関する学生の評価」については、工学系学生は、学業の成果について、91%が満足する一方、研究科の人材像への達成度については肯定的な回答は36%にとどまり、理学系でもほぼ同様の傾向を示し、研究のハード面でも満足している割合は約5割であることから、期待される水準を下回ると判断される。</p> <p>【申立内容】 論点の整理</p> <p>【論点の整理内容】 「理学系でもほぼ同様の傾向を示し」という記述に関しては、学業の成果の満足度について述べたものであり、工学系、理学系においてほぼ同様の高い満足度を示しているというのが趣旨である。 なお、人材像については、理学系において実施した表4-2-3の「4) 受講した科目の授業は今後の進路に役立つ」を人材像に該当する事項として捉えることができる。その結果は64.6%の高い数値を示し、理学系においては、人材像に即した教育を行っていることが伺える。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由の一部を修正する。</p> <p>○判断理由 「学業の成果に対する学生の評価」については、<u>工学系、理学系とも、学生は、学業の成果について、相応の満足度を示している一方、工学系学生は、研究科の人材像への達成度については肯定的な回答が36%にとどまり、研究のハード面に不満を持つ学生が約5割であることから、期待される水準を下回ると判断される。</u>」</p>